

平成 23 年度 総会および研修会を開催

はじめに

道北技術士会では、定例の総会および研修会を開催しました。当日は北海道支部より森事務局次長をお迎えし、総勢 22 名の出席となりました。

以下にその概要を報告します。

日時：2011 年(平成 23 年) 4 月 16 日(土)

14:00～19:00

場所：旭川ターミナルホテル

参加：22 名(道北技術士会会員 19 名)

1. 定時総会

総会では以下の議案について審議し、全会一致で承認された。

議案第 1 号 平成 22 年度事業報告および決算報告

議案第 2 号 平成 23 年度事業計画案および予算案

議案第 3 号 役員改選

平成 23 年度の事業計画では、長らく続く厳しい経済状況に加えて、東日本大震災における甚大な被害や復興へ向けての課題を見据え、社会動向や時宜に合った話題提供と継続研鑽の機会として CPD 活



定時総会

動、会員相互の技術向上と情報交換などを行っていくことが確認された。

2. 研修会

演題 1：技術士を巡る最近の動向

講師：(社) 日本技術士会北海道支部

事務局 次長 森 隆広 氏

概要：

- (1) 平成 22 年度 技術士第一次試験結果
- (2) 平成 22 年度 技術士第二次試験結果
- (3) 技術士会北海道支部の会員数
- (4) (社) 日本技術士会の公益社団法人化について
- (5) 本部(理事会等)からの話題について
- (6) 北海道支部からの話題について



事務局長 森氏の講演

演題 2：大雨と地震

講師：株式会社 アサヒ建設コンサルタント

地質グループスタッフ 和田 直人 氏

概要：

平成 22 年 8 月に道北地方において大雨が発生し、天人峡においては死傷者が出る災害となった。大雨の発生する以下の 4 つの気象条件について、さまざまなデータを用いて解説いただいた。

- CASE I 台風と前線
- CASE II 前線と暖湿気流の流入
- CASE III 強い温帯低気圧
- CASE IV 寒気と暖湿気流(=大気不安定)

また地震については、地震や津波発生のメカニズムや世界の巨大地震の事例など基礎的な知識を整理した後で、東北地方太平洋沖地震の全貌について、解説いただいた。

- ・ 専門家でも予想していなかった場所で発生
 - ・ 典型的な海溝型地震
 - ・ マグニチュード9.0 (国内有史以来最大)
 - ・ 3つの巨大地震が連動して発生し、その中でも津波を起こしやすい地震のエネルギーが最大
- 大雨と地震のそれぞれについての理解を深めるとともに、被害の甚大さや予測の難しさを改めて感じ、今後のあるべき対策について考えさせられた。



アサヒ建設コンサルタント 和田氏の講演

演題 3：旭川地区の酒造り

講師：高砂酒造株式会社

前杜氏 西 和夫 氏

概要：

旭川における酒造りは、1892年(明治25年)に最初の酒造店が創業して以来、時代の変遷を経ながら多くの創業や廃業を繰り返し、現在は3社の酒造メーカーが営業している。

酒造りが盛んである旭川の風土は、以下の点から酒造りに適している。

- ・ 旭川の寒さ
雪が降ると雑菌が少なく空気がきれいであることから、醪の低温長期発酵に適している。
- ・ 水
大雪山の伏流水であり、一年中10℃前後で雑菌

がなく不純物も少ない、なめらかな軟水である。米を洗う・浸ける・蒸す・酒を仕込む・割水に適している。

・ 米

明治時代から旭川で造られていた米は酒造りに適した大粒・軟らかい・タンパク質が少ないといった条件がそろわなかった。現在では「きらら397」誕生以来、酒造りに適した原料米ができ、さまざまな銘柄の酒が造られている。

製法は、最初に入植した南部杜氏から伝わるもので、麴の製造、酒母の育成、醪の発酵、搾り、貯蔵・熟成、割水、濾過、瓶詰、出荷を経て、消費者まで届く。西氏は祖父の代から3代続く杜氏であり、現在は機械化された工程も多い中で、人間の五官である目・耳・鼻・舌・皮膚から、見る・聞く・かぐ・味わう・さわるといった感覚を大切に、米や気候などの環境変化を感じながら、毎日が勉強であるとのことである。

また、現在進められている旭川駅高架化工事において、大雪山からの伏流水である水脈を切らないように設計・施工されていることを聞き、自然環境保全の意義を改めて感じた。



高砂酒造株式会社 西氏の講演

おわりに

例年、本会では地域の活性化や地域資源の活用等さまざまな分野において、道北地域で活躍されている方々を講師にお招きし研修会を開催しています。今年の研修会においても、今後の道北地域のあり方について非常に参考となる事例であり、参加者からも好評でした。

最後に、研修会にご協力頂いた講師の方々にお礼を申し上げ、ご報告といたします。